



みやぎ あり  
宮崎 章範さん  
(会社員/子ども分科会)

いろいろな考えを持った皆さんと話をすることで、新たな発見があります。まちづくりにわたしたちの声が反映されることで、わたしたち自身も仕事としている分野以外のことにも関心を持ってまちを見ることができるようになればと思います。

佐世保には、「安心して過ごせて、活気のあるまち。また、若い人たちが夢を持ってチャレンジでき、その夢をかなえられるまち」になってほしいです。



もとやま まきこ  
本山 麻貴穂さん  
(大学生/自然と歴史・文化分科会)

会員の皆さんは年齢や職業などが違い、いろいろな視点から意見を聞くことができ勉強になります。また、自分の意見が言えることも楽しいです。

佐世保には、「佐世保らしい魅力があふれるまち。また、佐世保の人の優しさや温かさが現れるまち」になってほしいです。

## わたしたちも、まちづくりに参加しています

佐世保市総合計画を考える市民会議は、座長の長崎国際大学教授・高橋信幸さんを筆頭に、会員の皆さんは「地域コミュニティ・地域福祉」、「子ども」、「観光」、「自然と歴史・文化」、「都市機能」の5つの分科会に分かれて、それぞれ話し合いをしています。

ここでは、本市のまちづくりに熱い思いを持った会員の皆さんの声を一部ご紹介いたします。



ふじき みこ  
藤木 美智代さん  
(主婦/地域コミュニティ・地域福祉分科会)

これまで「まちづくり」なんて大きなことは考えたことがありませんでしたが、ボランティア活動をするようになって少し視野が広がりました。

市民の皆さんには、いろいろなことに興味を持ってもらいたいです。

佐世保には、「弱い人たちに優しいまち」になってほしいです。

### もっと、もっと総合計画のことを知りたくなったら、こちらをご覧ください！

市ホームページ (<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp>) では、『みんなの総合計画』と題して、市民会議をはじめ、総合計画に関する情報を詳しくお知らせしています。

お尋ね 市役所企画調整課 (☎0956-24-1111)



市民会議の会員を一般公募したところ約70人の応募がありました。会員の皆さんは、学生や主婦、会社員、自営業など職業や年齢もさまざま、多彩な顔ぶれです。一般公募の市民によって総合計画づくりを進める自治体は、県内では本市が初めてで、全国的にもまだ珍しく、まさに「佐

世保市総合計画を考えると、市民の皆さんと行政が信頼や協力関係の中で、「佐世保市の将来像」や「まちづくりの基本目標」、またこれらを実現するための「具体的な取り組み」について一緒に考える、「佐世保市総合計画を考える市民会議」をことし4月に発足させました。

これまでの総合計画づくりは、行政だけで取り組んでいました。しかし、市民の皆さんの生活にかかわる総合計画を行政だけでつくっていいのでしょうか。

今後、本市を取り巻く環境は大きく変化することが予想され、これまでの行政のやり方だけでは問題解決が困難なこともあるでしょう。まちづくりの主役は、市民の皆さんです。今こそ、皆さんが力を発揮するときなのです。

この方法で会議を進めると、会員の皆さんの学習するスピードが速まり、成果を短時間で達成することができます。また、会員同士の相乗効果で、斬新なアイデアなどが生み出されることも期待されます。

このように、市民会議では、市民の皆さんと行政が活発な意見交換や議論をして、新しいまちづくりに向けて一緒に取り組んでいます。

ファシリテーターとは、ワークショップ(ゲーム感覚で、気軽に誰もが発言できる場)を巧みに使いこなし、参加者が不満をあまり抱くことなく、市民と行政の信頼関係を築き、円滑に目的へと向かわせる「会議進行の専門家」のことです。

この市民会議の目的は、ことし12月までに総合計画に寄せる思いや考えを提言書としてまとめることです。会議は月に約1回の開催で、しかも1年足らずという短い期間で提言書をまとめなければなりません。そこで、話し合いがより円滑に進むように、会議は「ファシリテーター」と呼ばれる第三者の専門家に、市民の皆さんと行政の間を取り持つてもらいながら進められています。

世保市に合った、佐世保市だけのまちづくりが市民の皆さんと一緒に進められているといえます。

## 市民の皆さんの声がまちをつくりまします